

海外生活 エッセー

ソウル事務所

韓国の食文化 ～挨拶にも使われる食の大切さ～

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 糸原 叶恵 (島根県派遣)

→ はじめに

韓国で生活する中で楽しみの1つが「食」です。日本でも韓国料理は、馴染みある料理の1つとなりつつあります。そこで、韓国生活で感じた食に関する文化について紹介します。

→ 「ご飯食べた？」は韓国の挨拶

韓国語で一般的に広く知られている挨拶としては、「안녕하세요 (こんにちは)」ですが、韓国の方が日常生活でよく使用する言葉は、「밥 먹었어요? (ご飯食べた?)」というフレーズです。

この挨拶は、「こんにちは」と同じように使われ、単にご飯を食べたのかを尋ねているというよりはむしろ韓国文化として根付いている挨拶です。

実は、この「ご飯食べた？」という挨拶には歴史的背景があるとされています。

韓国は、朝鮮戦争などにより貧しい時代が長かったことから、生きるためにご飯を食べることが、今よりもはるかに貴重なことでした。共に頑張りながら生きる仲間が今日も食事をしたかどうかを心配することが愛のある挨拶であったことから、現代でもその挨拶が残っています。ただ単にご飯を食べたのかを聞いているわけではなく、今日も健康で過ごしているのかという想いが込められた温かい文化・習慣として受け継がれています。

→ 韓国の食文化

韓国人の友人や同僚と過ごす中で、ご飯を食べることへの大切さを感じます。今回は、韓国での平日の昼食の様子をふまえ、食文化についてお伝えします。

まず、韓国は、キムチやナムルといったおかずが無料であり、1人分の量も多いです。

韓国では食事をする上で、大量の料理でおもてなしを

することが文化とされており、基本的に量が多いため、残す人も少なくありません。そのため、完食した際には、「足りなかったのか」と思われ、店員さんがおかわりを持ってきてくれることがよくあります。

そして、おかずは注文した料理とは別に準備されており、最近こそは、セルフサービスとなっていることも多く、好きな量だけ取ることができるため、おいしくお得感を感じられます。

そのほかにも、韓国は大勢で食事をする習慣が根強く、最近では、日本のように1人で入れるお店も増えていますが、基本的に複数人で食べる人が多いです。特に鍋や焼肉などは、基本的に2人分からの注文なので、2人以上で食べるのが一般的です。

最後に、韓国では食後にコーヒーを飲む文化があり、昼食後コーヒーを片手に歩いている人をよく目にします。私も韓国に来て間もなく1年半になりますが、今では、食後のコーヒーが欠かせなくなってきました。



クレアソウル事務所近くの食堂での様子

→ 終わりに

韓国生活を送る中で、韓国人はとてども食を重要視しており、相手の健康も気遣う「ご飯食べた？」の挨拶には、韓国ならではの人情が感じられます。今後も韓国生活の中で、日本とは違うさまざまな文化や習慣などを発見し、その背景にある歴史や人柄に触れていきたいです。